

# TOEFL®テスト

TOEFL®テストは、英語を母国語としない人の英語力を測定するテストです。世界160ヶ国以上、11,500以上の団体で実施されています。英語圏の大学などへの留学や海外研修プログラムなどに応募する際に、TOEFL®テストのスコアが求められることも多く、海外留学へのパスポートとも言えるテストです。

★TOEFL®テストには、公式テスト: **TOEFL iBT®テスト**と、学校などが実施する団体受験プログラム: **TOEFL ITP®テスト**の2種類があります。テストの内容、スコアとその利用範囲が異なりますので、求められる要件を確認して、どちらのテストを受験するかを選択してください。

## ■ TOEFL®テストの試験概要・構成

### ◆ TOEFL iBT®テスト ★2026年1月21日より新方式に変わりました。

現在国内で実施されている公式テストで、受験はコンピュータを使って行われます。Listening, Reading, Speaking, Writingの4つのセクションから構成されています(詳細は下図を参照のこと)。スコアは1~6までのバンドスコアで示されますが、2年間は旧方式の0~120のスコアが併記されます。アメリカ英語がメインとなります。アカデミックな問題が多いのが特徴で、非常に難易度の高いテストです。

セクション	問題形式	設問数*1	試験時間(目安)	スコア
Reading *2段階のアダプティブ方式	•Complete the Words (単語を完成させる)	35-48問	約27分	各セクション 1-6のバンドスコア (Overall 1-6) および 0~30のスコア (Total 0~120)
	•Read in Daily Life (日常生活に関する文章を読む)			
	•Read an Academic Passage (アカデミックな文章を読む)			
Listening *2段階のアダプティブ方式	•Listen and Choose a Response (音声を聞いて応答を選ぶ)	35-45問	約27分	
	•Listen to a Conversation (会話を聞く)			
	•Listen to an Announcement (アナウンスを聞く)			
Writing	•Listen to an Academic Talk (アカデミックな講義を聞く)	12問	約23分	
	•Build a Sentence (文を作る)			
	•Write an Email (メールを書く)			
	•Write for an Academic Discussion (アカデミックなディスカッションのために文章を書く)			
Speaking	•Listen and Repeat (聞いて繰り返す)	11問	約8分	
	•Take an Interview (インタビューを受ける)			

\*ListeningとReadingセクションは2段階のアダプティブ方式で、モジュール1の正答率により、モジュール2の難易度が変わります。

### ◆ TOEFL ITP®テスト

大学などの団体向けプログラムで、マークシート方式とオンライン方式(TOEFL ITP®テスト デジタル版)があります。Listening, Structure, Readingの3つのセクションからなり、試験時間は約2時間、スコアは310~677で表示されます。マークシート方式とオンライン方式では、出題・解答形式、スコア評価など同一内容で実施されます。

★TOEFL ITP®テストのスコアは公式スコアではありませんが、公式のスコアと高い相関性があるとされ、学内の留学プログラムや大学院進学・就職活動などの多くのケースでそのスコアを利用することができます。ただし、スコアの利用の可否については、必ず事前に提出先に確認してください。

Section	問題数・形式	時間	スコア	
Listening Comprehension	北米で話されている標準的な英語を聞き取り、内容を理解する力を測定。音声聞き、それに関する質問について4つの選択肢から解答を選択。(50問)	約37分	31~68	
				PartA 二人の話し手の会話
				PartB PartAより少し長めの会話
PartC 短めの話				
Structure and Written Expression	標準的な文章表現や文法の知識を測定。文中の下線部に正しい語句を補充し文章を完成させる問題や文章中の誤った表現を選択する問題。(40問)	25分	31~68	
Reading Comprehension	大学の授業で取り上げられるようなトピックについて読解力を測定。社会科学や自然科学などの幅広い分野から出題される。(50問)	55分	31~67	
合計			約2時間 310~677	

## ■ TOEFL®テストのスコアレベルについて

CEFR	iBT	ITP	ガイドライン・必要とされるレベル
C2	6	114-120	ほぼネイティブと同じレベルのコミュニケーション能力がある。
C1	5 - 5.5	95-113	627-677 ビジネス上の会議や大学の授業でネイティブスピーカーが話す言葉も困難なく聞き取り、不自由なくコミュニケーションが可能。
B2	4 - 4.5	72 - 94	543-626 ビジネス上の会議や大学の授業でネイティブスピーカーが話す言葉聞き取り、議論や様々な話題についていけ、質疑応答も可能。
B1	3 - 3.5	42-71	460-542 日常生活のコミュニケーションは支障がない、自分の専門分野や興味のある話題に関して内容を理解し、自分の意見を説明したり、文書を作成できる。
A2	2 - 2.5	30-41	337-459 日常的な事柄に関する簡単な文書を読むことができる。通常の会話で自分と関係あることに関して簡単な言葉でコミュニケーションが可能。
A1	1 - 1.5	0 - 29	310-336 日常よく使われる表現や基本的なフレーズを用いて必要最小限のコミュニケーションができる。

TOEFL®テストのスコアレベルと、英語運用能力の関係についてまとめたのが左の表となります。英語学習の目標を考える際の参考としてください。

海外留学に必要なスコアとしては、英語圏の大学進学の場合、B2以上、C1レベルが目安とされています。大学や参加するプログラムにより幅がありますので、留学先の応募要項などで確認してください。

テストに関する詳しい情報・申込方法などは下記運営団体のホームページをご覧ください。

ETS Japan 合同会社 TOEFL®テスト日本事務局  
<https://www.toefl-ibt.jp/>